

参考資料 1

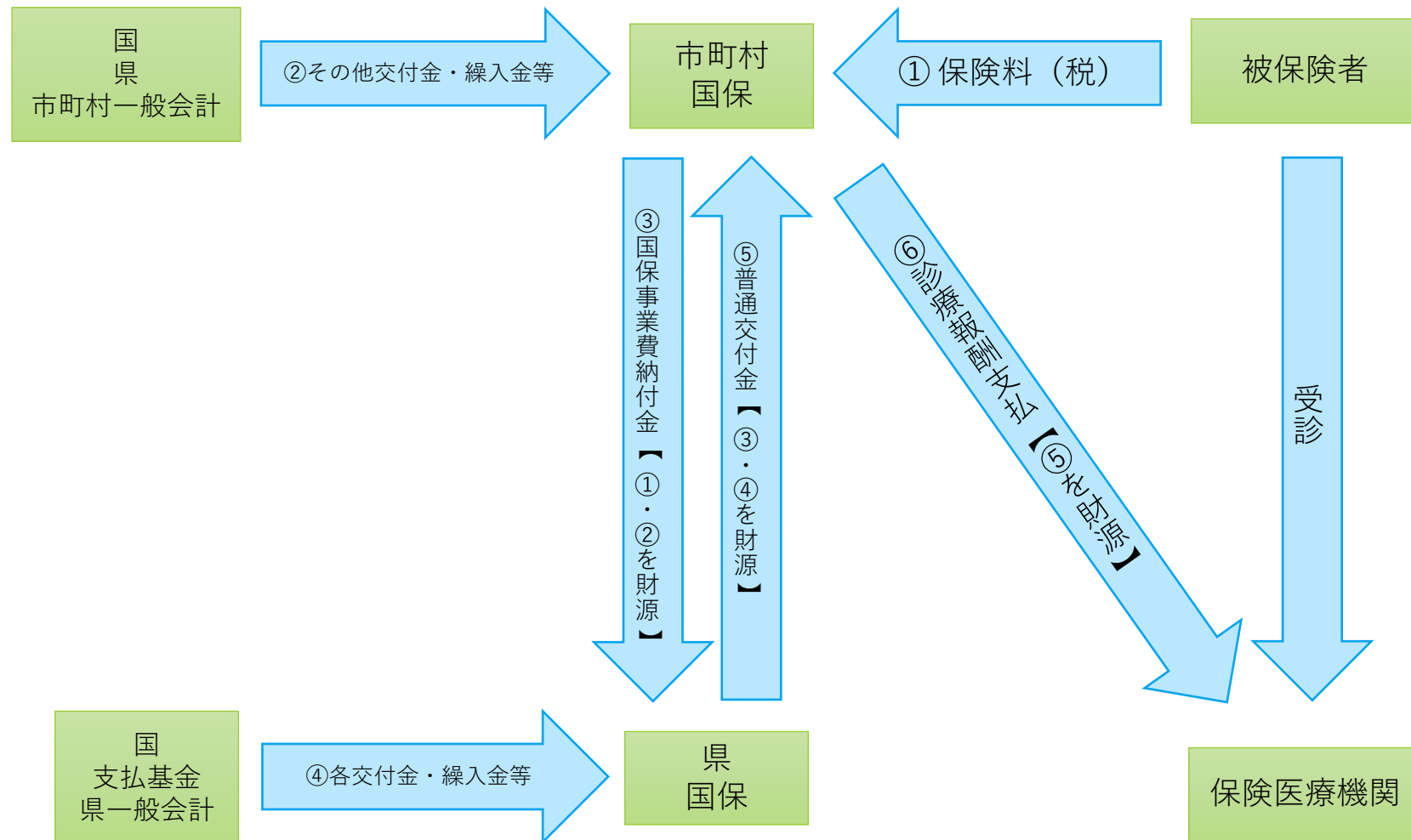
令和 7 年度 第 2 回福島県国民健康保険運営協議会

令和 8 年度国保事業費納付金等の仮算定結果 及び本算定に係る算定方法について（参考資料）

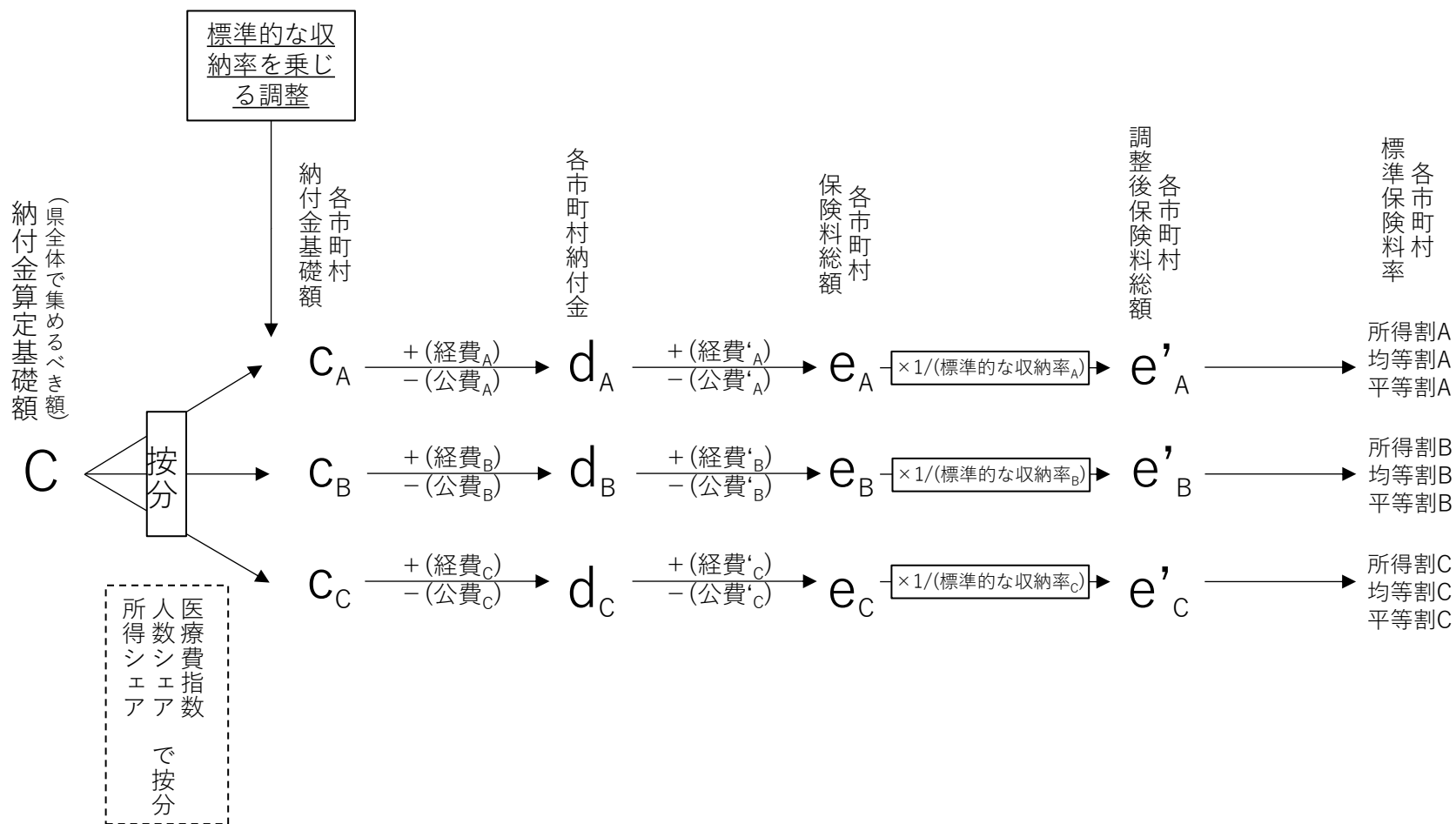
福島県保健福祉部
国民健康保険課

令和 7 年 1 2 月 2 5 日

1 財政運営の仕組みについて



2 納付金等算定方法の流れ（ケース：A・B・Cの3町）



3 各市町村の納付金基礎額（c）の算定式

各市町村の納付金基礎額（c）の算定

$$c = C \times \left\{ \frac{\beta}{1+\beta} x + \frac{1}{1+\beta} y \right\} \times \left\{ 1 + \alpha (\text{医療費指数} - 1) \right\} \times \left\{ 1 + \delta (\text{標準的な収納率} - 1) \right\} \times \gamma$$

所得・被保険者数について各市町村のシェアを反映
医療費指数の高低を納付金へ反映
収納率の高低を納付金へ（δにより段階的に）反映 ※福島県独自

C : 納付金算定基礎額（県全体で集めるべき額）

【統一に向けた係数調整】

x : 当該市町村における所得のシェア

y : 当該市町村における人数のシェア

α : 医療費指数反映係数

β : 所得係数（応能割：応益割）

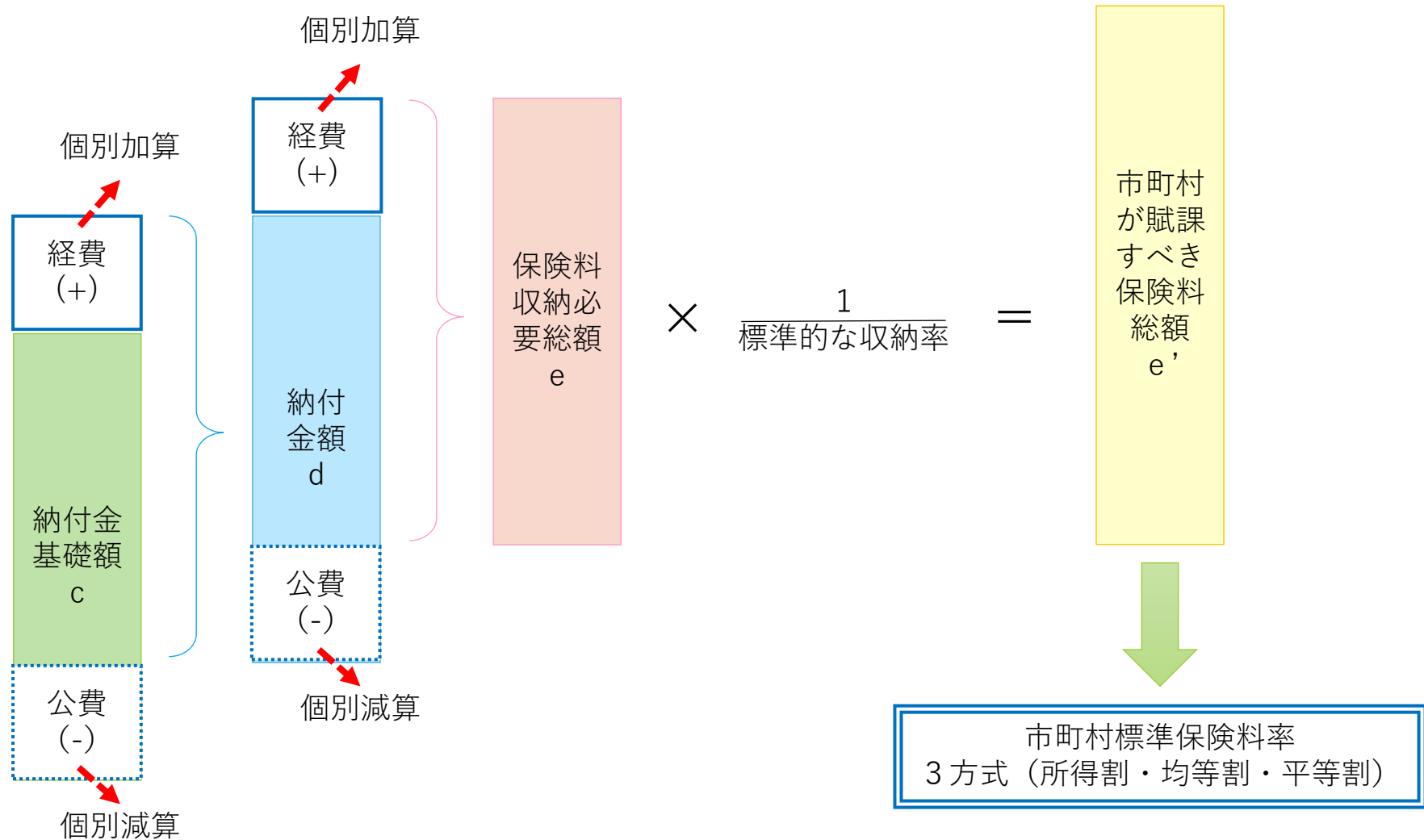
γ : 調整係数

δ : 収納率反映係数

	R6	R7	R8	R9	R10	R11
α	1.0	0.8	0.6	0.4	0.2	0.0
δ	0.0	0.2	0.4	0.6	0.8	1.0
β	R6年度からは、納付金・標準保険料率の双方を算定する際に、国が示すβ値を採用。					

※ 医療費指数に係る調整{1+α(医療費指数-1)}については、医療分のみ実施。後期分、介護分及び子ども分における計算式において、当該調整は実施しない。

4 各市町村が賦課すべき保険料総額算出までの流れ



5 市町村標準保険料率の算定方法（イメージ）

